

関係者各位

プランクトン調査結果のお知らせ

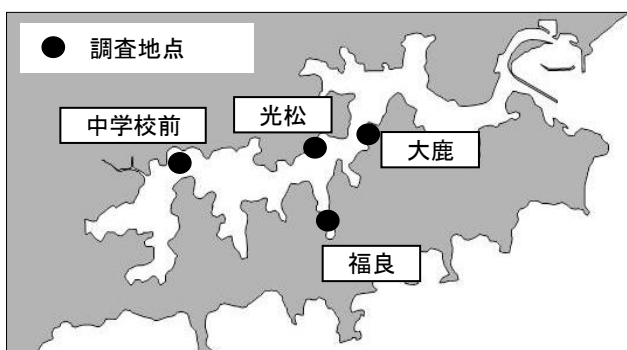
本日、午前9時に浦ノ内湾でプランクトン調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で3,450 cells/mL、カレニア・ミキモトイが最高で540 cells/mL、ディクチオカ属が7 cells/mL確認されました。シャットネラ属が浦ノ内湾全域で、カレニア・ミキモトイは養殖漁場で、それぞれ漁業被害が想定される密度を超えていました。特に福良では、高密度の赤潮プランクトンと考えられる濃い着色水域も見られましたので、十分注意してください。

海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなどの慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

	深度	シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	ディクチオカ属
中学校前	2.4m	36	19	7
	5m	26	12	0
福良	1.5m	3,450	1	—
	5m	122	2	—
光松	2m	340	0	0
	5m	58	460	2
大鹿	2m	390	280	—
	5m	100	540	—



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ： 数百 cells/mL以上（魚類等のへい死）
- ・シャットネラ属： 10 cells/mL以上（魚類へい死）
- ・ディクチオカ属： 数千 cells/mL以上（魚類等のへい死のおそれ有り）